

国際宇宙探査に関する 国際調整・検討状況について

令和元年6月24日
文部科学省研究開発局



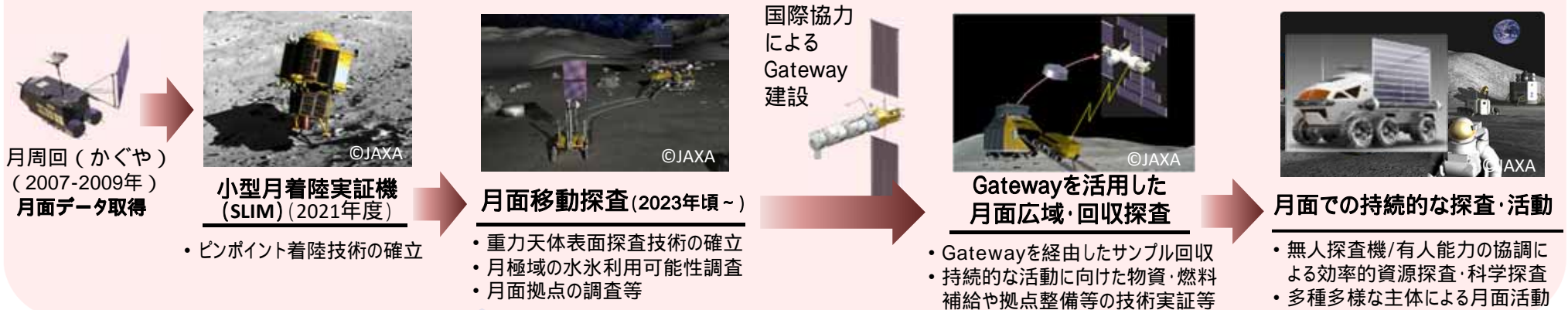
我が国の月探査に関する基本的方向性と米国との連携



我が国の月探査に関する基本的方向性

- 深宇宙における人類の活動領域の拡大や新たな価値の創出に向け、**まずは月面での持続的な活動の実現を目指す**
- 国際宇宙探査活動に、**我が国の強みを活かして、重要な役割を担うなど戦略的に参画**し、宇宙分野にとどまらない幅広い産業界や学界とも連携しつつ、効率的・効果的に進める

科学的知見や波及効果の高い技術の獲得、イノベーション・新産業の創出、国民の関心も高い日本人宇宙飛行士の活躍等



長年にわたる協力関係をベースに
戦略的・相乗的に連携



文科大臣・NASA長官会談（2019/5/2）
月探査分野を含め更なる協力を進めていくことで一致し、共同声明に署名



日米首脳会談（2019/5/27）
月探査に関する協力について議論を加速することで一致



米国の“Moon2024”政策

2024年までに最初の米国人女性と次の男性の宇宙飛行士が初期型**有人拠点(Gateway)**を経由して**月面着陸(南極域)**
米国は2024年の月面着陸に集中 国際パートナーとは共に取り組む

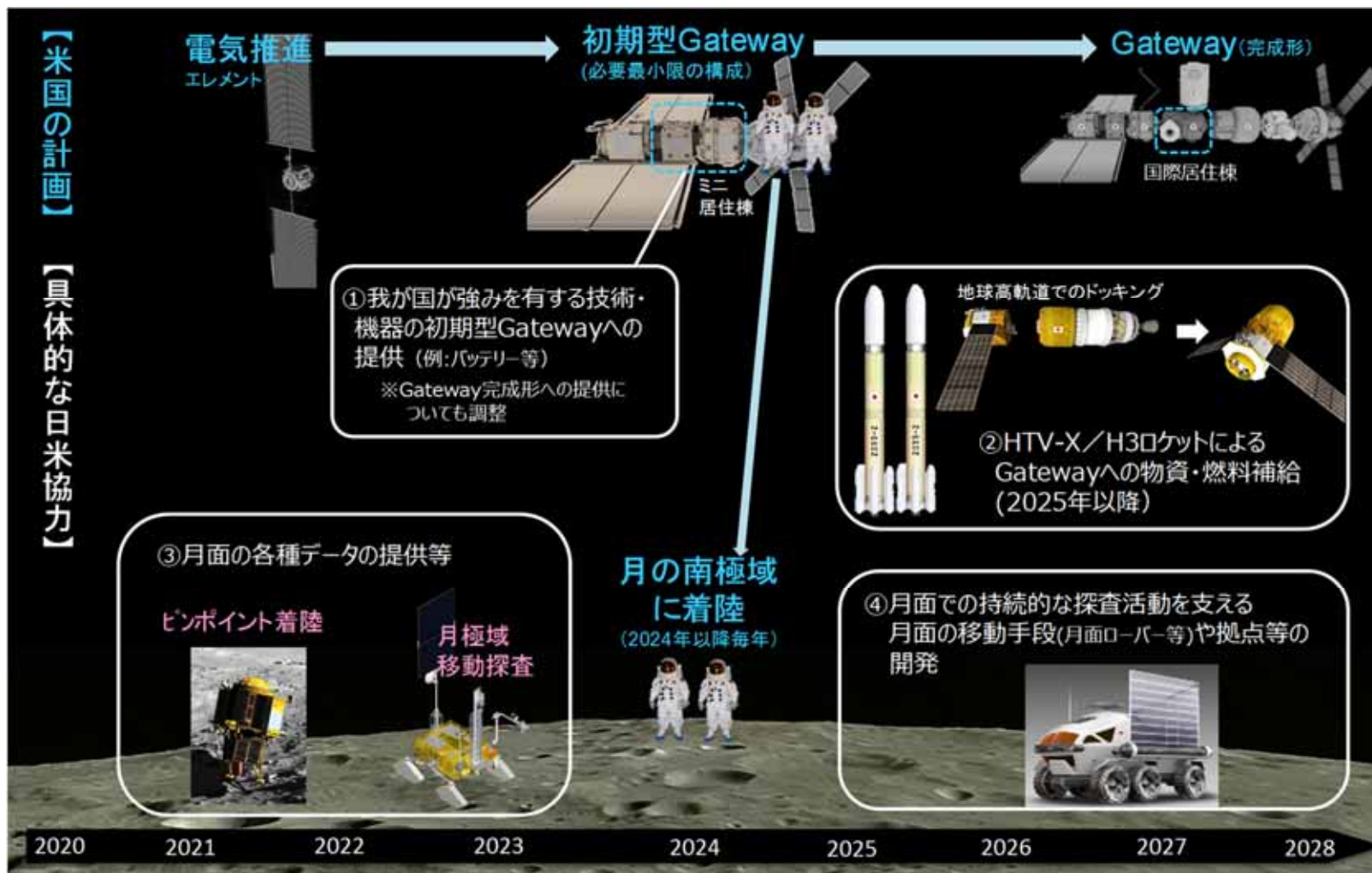
月探査に関する日米協力について

早期の有人月面着陸を目指す米国との協力をタイムリーかつ戦略的に実施できるよう、必要な対応を加速

具体的な協力

初期型Gatewayにおける協力
 物資・燃料等の補給面での協力
 月面データ共有面での協力
 移動手段や拠点開発での協力

技術の補完により期限内の建設に貢献
 有人月面着陸前倒しに伴う補給ニーズ増への対応に貢献
 有人月面着陸候補地点の選定等にご貢献
 持続的な月面活動へ貢献



(注: 本イメージ図はNASAやJAXAの資料をもとに文部科学省で作成)